

# 酒倉

小川未明

青空文庫



## 上

甲と乙の二つの国は、隣り合っているところから、よく戦争をいたしました。

あるときの戦争に、甲の国は乙の国に破られて、乙の軍勢は、どしどし国境を越えて、甲の国に入ってきました。甲の大將は、とても正当の力では乙の軍勢を防ぐことができない、そうして降参しなければならぬと思ひましたから、これはなにか策略を巡らして、乙の兵隊や、大將どもを殺してしまわなければならぬと考えたのであります。

そこで、乙の軍勢が、甲のある小さな町を占領したときに、甲の大將は、すっかりその町の食物を焼き払って、ただ、酒と水ばかりを残しておきました。そうして、その酒と水には、ことごとく毒を入れておきました。大將は、敵がきつと腹を減らして、のどを渴かしてくるにちがいない。そのとき、食物がないから、きつと酒を飲み、水を飲むにちがいないと思つたのです。そうして、この町から逃げてゆきました。

はたして、乙の軍勢はえらい勢いでこの町を占領しましたけれど、食物がありません。みんなは腹が空いてのどが渴きますものですから、大將はじめ兵士は、いずれも酒を飲み、水をがぶがぶ飲んだのであります。すると、急に腹が痛みだして

きて、みんなは苦しみはじめました。そうして、時を移さずにごろごろと倒れて死んでしまいました。

はるかに、このようすを見ていました甲の国の大將は、このときだと思ひました。負けた兵士を勇氣づけて逆襲をいたし、さんざんに弱つた乙の国の軍勢を破りました。

思わぬことにほこ先をくじいた乙の軍勢は敗けて退却いたしますと、今度は甲の軍勢は急に勢いを盛り返して、逃げる乙の軍勢を追つてゆきました。

いつしか乙の軍勢は国境を越えてわが国に逃げ帰り、とうとうこの戦争は、甲の勝利に帰してしまいました。そうして、甲の国の大將が奇略を用いたから戦争に勝つたとい

うので、たいそうその大將は人々にほめられました。  
けれど、平和はただちに破れて、また二国は戦争を始めました。

## 下

今度は甲の国が勝ちつづけて、その軍勢は、国境を越えて乙の国へ侵入したのであります。

ある日のこと、甲の軍勢は乙の国のある村を占領いたしました。その村の人々は、すでにどこへか逃げてしまつて、村にはまったく人影が見えなかつたのです。たまたま家を失つた

犬いぬがその辺へんをうろついている姿すがたを見みますばかりで、豚ぶたも、鶏にわとりも、馬うまも、牛うしも見みなかつたのであります。それは、村人むらびとが逃にげるときに敵てきに渡わたすのを惜おしんで連つれていったり、また殺ころして焼やき捨すててしまつたりしたのであります。

甲こうの国くにの大將たいしょうは、このさびしい火ひの消きえたような村むらの中なかを見みまわりました。どこかに食たべ物ものが隠かくしてないかと思おもつたのであります。けれどどこにも、食糧しよくりょう品ひんがなかつたのです。大將たいしょうは微笑ほほえみました。そうして心こころの中うちでいったのです。

「ははあ、これは、いつかおれが敵てきを困こまらせてやった策略さくりやくをそのまま、おれに当あてはめようとするのだな。ばかなやつらめ。」と、見みまわつて歩あるきました。

すると、草原くさはらの中に、ただ一人ひとりの少年しょうねんがすわっています。太陽たいようの光ひかりは、その少年しょうねんの頭あたまを熱あつそうに照てらしています。「おまえは、そこでなにをしているのだ。」と、大将たいしょうは少年しょうに声こえをかけました。

「わたしは、びつこです。みんなといっしょに逃にげることができませんから、しかたなくこうしています。」と答こたえました。

「おまえは、どの井戸いどや、酒倉さかぐらに毒どくを入れたか知しっているにちがいない。それを教おしえればよし、教おしえないと承知しょうちをしななぞ。」と、大将たいしょう将しょうはいいました。

少年しょうねんは、この村むらの三軒げんの酒倉さかぐらだけには毒どくが入はいっているが、ほかは毒どくが入はいっていないと告つげました。これを聞きいた大将たいしょう将しょうは

考かんがえていましたが、やがてみんなに命めい令れいを下くだして、

「みんなは三軒げんの酒倉さかぐらの酒さけを飲のめ、そのほかは、どれも毒どくが入はいっているぞ。」と叫さけびました。兵士へいしたちは争あらそつて、その三軒げんの酒さ倉ぐらへ飛とび込こみました。大將たいしょうもいつて酒さけを飲のみました。そして一人ひとり残こらず死しんでしまいました。少年しょうねんは、うそはいわなかつたのであります。



# 青空文庫情報

底本：「定本小川未明童話全集 Ⅰ」講談社

1976（昭和51）年11月10日第1刷

1977（昭和52）年C第3刷

初出：「読売新聞」

1918（大正7）年10月24日～25日

※表題は底本では、「酒倉《さかぐら》」となっています。

入力：特定非営利活動法人はるかぜ

校正：江村秀之

2013年9月23日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.w.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

# 酒倉

小川未明

2020年 7月13日 初版

## 奥付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail [info@aozora.gr.jp](mailto:info@aozora.gr.jp)

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>  
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。  
<http://tokimi.sylphid.jp/>